

2020年2月28日

各位

会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長
トーマス・アクイナス・フォーリー
(コード番号：3961 東証マザーズ)
問い合わせ先 取締役 CFO 梅森正芳
TEL. 06-6386-1931

特別損失の計上に関するお知らせ（連結・個別）

当社グループは、2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の連結決算及び個別決算において、下記の通り、特別損失を計上することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上について＜連結＞

(1) 投資有価証券評価損の計上

2020年2月14日の決算短信公表後における会計監査人の会社法監査の過程と並行して、当社の連結子会社である Silver Egg Technology Asia Limited（以下、連結子会社）が保有する投資有価証券に関する取扱いについて検討を進めてまいりましたが、2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の連結決算において、特別損失として82,324千円（5,914千香港ドル）の投資有価証券評価損を計上することといたしました。

(2) 特別損失の計上に至った経緯

連結子会社は2019年12月期において Zeroth SPC 社（以下、Zeroth 社）が運営する AI 特化スタートアップアクセラレーターファンドへの投資を行っており、投資有価証券110,613千円（7,861千香港ドル）を計上していましたが、当該投資額のうち、82,324千円（5,914千香港ドル）については運用未開始である旨の連絡を受けておりました。

これを受けて当社グループは当該運用未開始分の今後の運用につき協議を進めておりましたが、本年2月20日に当該ファンドの資産計上内容に不明瞭な点が生じたため、同社に説明を求めてまいりました。しかしながら、期限までに決算の確定及び監査手続きに必要な回答が得られず、更にコロナウイルスの影響等もあり事実解明までに時間を要すると判断したため、連結子会社において保守的に減損処理を行うことが妥当と判断し、82,324千円（5,914千香港ドル）の特別損失を計上することといたしました。

なお、上記に関する事実解明は進捗しており、また、当該運用未開始分の今後の運用方針についても引き続き協議を継続してまいります。

2. 関係会社株式評価損の計上について<個別>

上記1の投資有価証券評価損の発生により、連結子会社の純資産が毀損し、当社が保有する連結子会社の株式の実質価値が著しく低下することとなったため、2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の当社個別決算において減損処理を行い、特別損失として112,611千円の関係会社株式評価損を計上することとなりました。

なお、当該関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

3. 業績に与える影響

上記1に記載の投資有価証券評価損の発生により、2020年2月14日発表の決算内容について変更が発生いたします。詳細は、本日別途公表いたします「（訂正・数値データ訂正）「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上